



2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年5月15日

上場取引所 東

上場会社名 GMOペイメントゲートウェイ株式会社

コード番号 3769

URL <https://www.gmo-pg.com/ir/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 相浦 一成

問合せ先責任者（役職名） 取締役副社長（氏名） 村松 竜（TEL）03-3464-0182

半期報告書提出予定日 2026年5月15日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に 帰属する中間利益		中間包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	46,084	13.1	18,792	22.7	18,867	19.8	12,537	22.1	12,042	22.3	15,975	41.2
2025年9月期中間期	40,757	12.9	15,314	21.0	15,752	20.1	10,267	19.3	9,849	18.3	11,313	21.0

	基本的1株当たり 中間利益		希薄化後1株当たり 中間利益	
	円	銭	円	銭
2026年9月期中間期	158.	60	156.	72
2025年9月期中間期	129.	85	128.	39

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	451,535	120,669	117,276	26.0
2025年9月期	406,800	116,177	113,013	27.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
2025年 9 月期	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 144.00	円 銭 144.00
2026年 9 月期	0.00	0.00			
2026年 9 月期 (予想)			0.00	170.00	170.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	93,235	13.0	37,639	20.1	36,119	13.2	24,284	7.7	23,406	7.2
										円 銭
										308.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期中間期	76,557,545株	2025年9月期	76,557,545株
② 期末自己株式数	2026年9月期中間期	614,472株	2025年9月期	703,877株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年9月期中間期	75,927,881株	2025年9月期中間期	75,850,176株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託及び株式給付信託 (J-ESOP) の所有する当社株式が含まれております (2025年9月期 698,305株、2026年9月期中間期608,900株)。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】7ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
- 当社は、2026年5月15日にアナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料と共に、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。
- 当社の要約中間連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載していましたが、当中間連結会計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするために、前連結会計年度及び前中間連結会計期間についても、百万円単位に変更して表示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	6
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	7
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約中間連結財政状態計算書	8
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	10
(3) 要約中間連結持分変動計算書	12
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 継続企業の前提に関する注記	15
(6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	15
① セグメント情報	15
② 営業債権及びその他の債権	16
③ 関連当事者取引	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

① 連結経営成績の概況

当中間連結会計期間（2025年10月1日～2026年3月31日）の業績は、以下のとおりです。

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)	増減率 (%)
売上収益	40,757	46,084	13.1
営業利益	15,314	18,792	22.7
税引前中間利益	15,752	18,867	19.8
親会社の所有者に帰属する 中間利益	9,849	12,042	22.3

a. 売上収益

売上収益は46,084百万円（前年同期比13.1%増）となりました。オンライン課金分野、継続課金分野、対面分野と「GM0後払い」合計の決済処理件数は前年同期比1.3%減、決済処理金額は前年同期比6.7%増となり、決済代行事業の売上収益は34,187百万円（前年同期比12.3%増）、金融関連事業の売上収益は11,108百万円（前年同期比16.8%増）、決済活性化事業の売上収益は925百万円（前年同期比5.7%増）となりました。詳細については、「1. 経営成績等の概況 (1) 当中間期の経営成績の概況 ②セグメントの業績状況」に記載しております。

品目別売上収益は、以下のとおりです。特定加盟店の内製化による一部影響はあるものの、堅調に推移しております。

（単位：百万円）

品目別	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)	増減率 (%)
イニシャル (イニシャル売上)	5,270	5,684	7.9
ストック (固定費売上)	6,556	7,752	18.2
フィー (処理料売上)	12,078	13,059	8.1
スプレッド (加盟店売上)	16,852	19,587	16.2
合計	40,757	46,084	13.1

b. 営業利益

営業利益は18,792百万円（前年同期比22.7%増）となり、当連結会計年度の業績予想に対して順調に進捗しております。決済代行業業のセグメント利益（営業利益）は17,220百万円（前年同期比18.0%増）となり、金融関連事業のセグメント利益（営業利益）は3,692百万円（前年同期比33.5%増）、決済活性化事業のセグメント利益（営業利益）は208百万円（前年同期比2.9%減）となりました。詳細については、「1. 経営成績等の概況（1）当中間期の経営成績の概況 ②セグメントの業績状況」に記載しております。

c. 税引前中間利益

a. と b. の結果、税引前中間利益は18,867百万円（前年同期比19.8%増）となりました。

② セグメントの業績状況

セグメントの業績は、以下のとおりです。

（単位：百万円）

セグメント別	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)	増減率 (%)
決済代行業業 売上収益 セグメント損益 (△は損失)	30,441 14,594	34,187 17,220	12.3 18.0
金融関連事業 売上収益 セグメント損益 (△は損失)	9,509 2,765	11,108 3,692	16.8 33.5
決済活性化事業 売上収益 セグメント損益 (△は損失)	875 215	925 208	5.7 △2.9
調整額 売上収益 セグメント損益 (△は損失)	△68 △2,260	△136 △2,329	— —
合計 売上収益 セグメント損益 (△は損失)	40,757 15,314	46,084 18,792	13.1 22.7

a. 決済代行業業

決済代行業業については、主にオンライン課金分野・継続課金分野と対面分野における決済代行サービス、金融機関や事業者等に対するBaaS (Banking as a Service) 支援の拡大に取り組んでおります。オンライン課金分野・継続課金分野においては、EC市場の順調な成長のもと、大手から中小規模まであらゆる業態の加盟店開拓やEC以外の幅広い事業者における当社グループのサービス利用の拡大に注力しております。

当中間連結会計期間のオンライン課金分野・継続課金分野は、食品・飲料など日常生活領域や旅行・チケットにおける決済は底堅く推移したものの、大手加盟店による増収寄与の一巡及び前連結会計年度に顕在化した特定加盟店の内製化影響により、GMOPayment Gateway株式会社のオンライン決済売上は10.2%増となりました。GMOPayシロン株式会社は「fincode byGMO」が好調に推移し決済処理金額は前年同期比45.6%増となりました。

当中間連結会計期間における対面分野は、第3四半期連結会計期間に納品が予定されていたドラッグストア向け大口案件の前倒しに加え、SME (Small and Medium Enterprise) 向けプロモーション施策が奏功しニシヤル売上増となりました。リカーリング型売上においては日常的に利用する業種・業態の加盟店における稼働継続に加え、新規加盟店である大型商業施設の本格稼働が貢献し、計画以上の売上成長となりました。

さらに、決済のキャッシュレス化やDXニーズの拡大を捉えた金融機関や事業者等に対するBaaS支援は、当連結会計年度計画に対し堅調に推移しました。

以上の結果、売上収益は34,187百万円（前年同期比12.3%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は売上総利益率の高いオンライン決済や対面分野のリカーリング型売上が堅調に推移したことに加え、前中間連結会計期間において計上した一時的な費用の影響により17,220百万円（前年同期比18.0%増）となりました。

b. 金融関連事業

金融関連事業（マネーサービスビジネス：MSB）については、加盟店のキャッシュ・フロー改善に資する早期入金サービスや、加盟店向け融資サービスであるトランザクションレンディング、戦略的事業シナジーも視野に入れた海外FinTech事業者向けレンディングサービス、送金サービス、給与即時受け取りサービスの「即給 byGMO」、BtoB取引の請求書カード払いを可能にする「請求書カード払い byGMO」のほか、連結子会社であるGMOPaymentサービス株式会社を通じて「GMO後払い」やBtoB取引向け後払い決済サービス「GMO掛け払い」、三井住友カード株式会社と共同で展開する分割・対面取引にも対応するBNPLサービス「アトカラ」等の後払い決済サービスを提供しております。

当中間連結会計期間において、後払い決済サービスは「GMO後払い」やBNPLサービスが貢献し売上収益が伸びました。海外FinTech事業者向けレンディングサービスにおいては、北米、インド及び東南アジアを中心に複数の新たな融資先の開拓及び既存融資先への追加融資が好調に推移し、売上収益が前年同期比71.8%増となりました。加えて、送金サービスや「即給 byGMO」、「請求書カード払い byGMO」も取扱件数が順調に推移し売上収益が伸びました。

以上の結果、売上収益は11,108百万円（前年同期比16.8%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、後払い決済サービスにおいて与信精度向上や回収業務の運用体制強化によって未回収率が低位で安定推移し与信関連費用を一定水準抑えることができたことに加え、海外FinTech事業者向けレンディングサービスではクレジットオリティを維持しながら伸ばしたことにより、3,692百万円（前年同期比33.5%増）となりました。

c. 決済活性化事業

決済活性化事業については、当社グループ加盟店の売上向上に繋がるマーケティング支援サービスや、連結子会社であるGMORizeプラス株式会社を通じて医療受付現場の業務効率化に繋がる医療特化型予約管理システム「メディカル革命 byGMO」等を提供しております。

当中間連結会計期間において、GMORizeプラス株式会社が提供する予約・問診票記入・受付・決済といった行為をスマホアプリから行えるサービスや、複数の医療機関の診察券をスマートフォン1つに集約することができるサービスへの需要の高まり等から同社の売上収益が前年同期比32.4%増と引き続き好調に推移いたしました。一方、マーケティング支援サービスはインターネット広告の市況変化の影響を受けております。

以上の結果、売上収益は925百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント利益（営業利益）は208百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

なお、決済活性化事業において提供されていたセキュリティ強化サービスによる売上収益は、取引実態が変更になったため、当中間連結会計期間より決済代行事業に計上されております。

各セグメントにおいて提供する主なサービス及び会社は、以下のとおりです。

セグメント	提供する主なサービス	主な会社
決済代行事業	決済代行サービス (オンライン課金・継続課金)	GMOPaymentゲートウェイ株式会社 GMOイブシロン株式会社（連結子会社）
	決済代行サービス (対面)	GMOフィナンシャルゲート株式会社（連結子会社）
金融関連事業	GMO後払い	GMOペイメントサービス株式会社（連結子会社）
	GMO掛け払い	GMOペイメントサービス株式会社（連結子会社）
	送金サービス	GMOPaymentゲートウェイ株式会社 GMOイブシロン株式会社（連結子会社）
	トランザクションレンディング	GMOPaymentゲートウェイ株式会社 GMOイブシロン株式会社（連結子会社）
	海外レンディング	GMOPaymentゲートウェイ株式会社 GMO-Z.COM PAYMENT GATEWAY PTE. LTD.（連結子会社） GMO-Z.com PAYMENT GATEWAY USA, Inc.（連結子会社） GMO-Z.COM PAYMENT GATEWAY INDIA CREDIT FUND 1 （連結子会社）
	早期入金サービス	GMOPaymentゲートウェイ株式会社 GMOイブシロン株式会社（連結子会社）
	即給 byGMO	GMOPaymentゲートウェイ株式会社
	請求書カード払い byGMO	GMOPaymentゲートウェイ株式会社
決済活性化事業	マーケティング支援サービス	GMOPaymentゲートウェイ株式会社
	メディカル革命 byGMO	GMORizeプラス株式会社（連結子会社）

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び資本の概況

a. 資産

当中間連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ44,735百万円増加し、451,535百万円となりました。これは主に現金及び現金同等物14,537百万円、営業債権及びその他の債権8,627百万円、前渡金13,845百万円、未収入金2,832百万円、棚卸資産1,221百万円、その他の金融資産2,929百万円が増加したことによるものです。

b. 負債

当中間連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ40,242百万円増加し、330,865百万円となりました。これは主にその他の負債1,431百万円が減少した一方、買掛金1,299百万円、未払金2,337百万円、預り金27,480百万円、借入金10,795百万円が増加したことによるものです。

c. 資本

当中間連結会計期間末における資本の残高は、前連結会計年度末に比べ4,492百万円増加し、120,669百万円となりました。これは主に剰余金の配当10,921百万円により減少した一方、中間利益12,537百万円、その他の包括利益3,437百万円により増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、期首残高に比べ14,537百万円増加し、234,577百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローは以下のとおりです。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間において営業活動の結果得られた資金は18,957百万円（前年同期は26,604百万円の獲得）となりました。これは主に営業債権及びその他の債権の増加7,043百万円、前渡金の増加13,845百万円、未収入金の増加2,832百万円、法人所得税の支払額5,869百万円により資金が減少した一方、税引前中間利益18,867百万円、減価償却費及び償却費2,077百万円、未払金の増加2,182百万円、預り金の増加27,477百万円により資金が増加したものです。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は4,686百万円（前年同期は5,498百万円の使用）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出2,665百万円により資金が減少したものです。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は1,025百万円（前年同期は10,327百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入れによる収入10,000百万円により資金が増加した一方、配当金の支払額10,914百万円により資金が減少したものです。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当社グループの事業が主として立脚する消費者向け電子商取引（BtoC EC）市場は、EC化率が欧米諸国に比して未だ低い水準にあり大きな拡大余地が残されております。物販領域において、主に小規模事業者は足元低成長にとどまるものの、大手事業者による販売チャネルの拡充や消費者の購買行動の変化等により成長の継続を見込んでおります。また、物販以外のサービス領域や、公共料金・税金等の公金、医療等の生活に密着した分野等における決済のオンライン化は着実に進行し、今後も安定した成長が見込まれております。加えて、企業間取引（BtoB）のEC化や個人間取引（CtoC）のEC化等、ECの領域自体も拡大しております。

連結子会社であるGM0フィナンシャルゲート株式会社が立脚する市場においては、クレジットカード及びそれ以外の手段も含めた対面キャッシュレス決済の加速に加え、生産年齢人口の減少や現金決済に係るインフラコストの削減など社会の構造的な変化が生じる中で新たなビジネスチャンスが生まれると共に、当社グループの事業領域もますます拡大する見込みとなっております。

2026年9月期の事業環境については、企業の賃上げの動きや株式市場の上昇による資産効果等も期待される一方、中東情勢や資源価格の動向等を背景とした物価上昇により家計の節約志向が強まっており民間消費全般の見通しには不透明感があります。

このような事業環境の中、大手及び成長性のある加盟店及び新たな市場の開拓、案件の大型化のほか、決済＋αのソリューションを提供する業種別プラットフォーム、金融機関や事業者等に対するBaaS（Banking as a Service）支援、次世代決済プラットフォーム「stera」等の重点施策を進めてまいります。

2026年9月期の通期連結業績予想については、売上収益93,235百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益37,639百万円（前年同期比20.1%増）、税引前利益36,119百万円（前年同期比13.2%増）、当期利益24,284百万円（前年同期比7.7%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益23,406百万円（前年同期比7.2%増）を見込んでおります。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		220,040	234,577
営業債権及びその他の債権	②	24,137	28,328
前渡金		65,785	79,630
未収入金		37,659	40,492
棚卸資産		3,210	4,431
その他の金融資産		786	450
その他の流動資産		1,317	1,564
流動資産合計		352,935	389,475
非流動資産			
有形固定資産		3,348	3,132
のれん及び無形資産		13,772	14,289
持分法で会計処理されている投資		5,266	5,548
営業債権及びその他の債権	②	13,037	17,474
その他の金融資産		15,069	18,335
繰延税金資産		3,092	3,021
その他の非流動資産		277	258
非流動資産合計		53,864	62,060
資産合計		406,800	451,535

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
買掛金		9,023	10,322
未払金		28,931	31,269
預り金		167,458	194,939
社債		19,935	19,978
借入金		13,410	14,710
その他の金融負債		752	582
未払法人所得税等		5,750	6,208
引当金		888	815
その他の流動負債		9,428	8,414
流動負債合計		255,578	287,240
非流動負債			
社債		19,916	19,927
借入金		9,902	19,397
その他の金融負債		2,990	2,476
引当金		131	131
繰延税金負債		31	37
その他の非流動負債		2,071	1,653
非流動負債合計		35,043	43,625
負債合計		290,622	330,865
資本			
資本金		13,323	13,323
資本剰余金		14,939	14,842
利益剰余金		75,385	76,563
自己株式		△1,074	△1,273
その他の資本の構成要素		10,439	13,819
親会社の所有者に帰属する持分合計		113,013	117,276
非支配持分		3,164	3,393
資本合計		116,177	120,669
負債及び資本合計		406,800	451,535

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

要約中間連結損益計算書

		(単位：百万円)	
	注記	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上収益		40,757	46,084
(うち、金利収益※)		6,941	7,843
売上原価		△13,217	△15,583
売上総利益		27,540	30,500
その他の収益		195	337
販売費及び一般管理費		△12,410	△12,019
その他の費用		△11	△25
営業利益		15,314	18,792
金融収益		535	389
金融費用		△242	△515
持分法による投資損益 (△は損失)		145	200
税引前中間利益		15,752	18,867
法人所得税費用		△5,484	△6,330
中間利益		10,267	12,537
中間利益の帰属			
親会社の所有者		9,849	12,042
非支配持分		418	494
中間利益		10,267	12,537
1株当たり中間利益 (円)			
基本的1株当たり中間利益		129.85	158.60
希薄化後1株当たり中間利益		128.39	156.72

(※) IFRS第9号「金融商品」に基づいて、実効金利法により測定した金利収益を表示しております。

要約中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	注記	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間利益		10,267	12,537
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産		△18	△45
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分		174	43
純損益に振り替えられることのない 項目合計		156	△1
純損益に振り替えられることのある項目			
在外営業活動体の換算差額		890	3,439
純損益に振り替えられることのある 項目合計		890	3,439
税引後その他の包括利益		1,046	3,437
中間包括利益		11,313	15,975
中間包括利益の帰属			
親会社の所有者		10,891	15,479
非支配持分		422	495
合計		11,313	15,975

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2024年10月1日時点の残高		13,323	15,202	62,712	△1,116	12,774	102,895	2,924	105,819
中間利益		—	—	9,849	—	—	9,849	418	10,267
その他の包括利益		—	—	—	—	1,042	1,042	3	1,046
中間包括利益		—	—	9,849	—	1,042	10,891	422	11,313
配当金		—	—	△9,403	—	—	△9,403	—	△9,403
非支配株主への配当金		—	—	—	—	—	—	△224	△224
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	125	—	△125	—	—	—
株式報酬取引		—	△37	—	42	—	4	—	4
支配継続子会社に対する 持分変動		—	△242	—	—	—	△242	△241	△484
所有者との取引額等合計		—	△280	△9,278	42	△125	△9,642	△466	△10,108
2025年3月31日時点の残高		13,323	14,921	63,283	△1,074	13,691	104,144	2,879	107,024

当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 百万円)

	注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2025年10月1日時点の残高		13,323	14,939	75,385	△1,074	10,439	113,013	3,164	116,177
中間利益		—	—	12,042	—	—	12,042	494	12,537
その他の包括利益		—	—	—	—	3,437	3,437	0	3,437
中間包括利益		—	—	12,042	—	3,437	15,479	495	15,975
配当金		—	—	△10,921	—	—	△10,921	—	△10,921
非支配株主への配当金		—	—	—	—	—	—	△375	△375
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	56	—	△56	—	—	—
株式報酬取引		—	135	—	△198	—	△62	—	△62
支配継続子会社に対する 持分変動		—	△232	—	—	—	△232	109	△122
所有者との取引額等合計		—	△96	△10,864	△198	△56	△11,216	△265	△11,482
2026年3月31日時点の残高		13,323	14,842	76,563	△1,273	13,819	117,276	3,393	120,669

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	注記	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前中間利益		15,752	18,867
減価償却費及び償却費		1,858	2,077
金融収益及び金融費用(△は益)		△292	125
持分法による投資損益(△は益)		△145	△200
棚卸資産の増減(△は増加)		373	△1,221
営業債権及びその他の債権の増減 (△は増加)		△1,881	△7,043
前渡金の増減(△は増加)		△10,483	△13,845
未収入金の増減(△は増加)		△187	△2,832
買掛金の増減(△は減少)		△85	1,298
未払金の増減(△は減少)		1,051	2,182
預り金の増減(△は減少)		21,680	27,477
その他の流動負債の増減(△は減少)		163	△1,021
その他		1,124	△877
小計		28,926	24,985
利息及び配当金の受取額		445	234
利息の支払額		△169	△392
法人所得税の支払額		△2,598	△5,869
営業活動によるキャッシュ・フロー		26,604	18,957
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		△94	△192
無形資産の取得による支出		△1,665	△1,873
投資有価証券の取得による支出		△1,891	△2,665
持分法で会計処理されている投資の取得 による支出		△300	△200
投資事業組合からの分配による収入		320	454
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得 による支出		△1,718	—
その他		△149	△209
投資活動によるキャッシュ・フロー		△5,498	△4,686

注記	(単位：百万円)	
	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,800	1,300
長期借入れによる収入	2,350	10,000
長期借入金の返済による支出	△388	△505
子会社の自己株式の取得による支出	△499	—
配当金の支払額	△9,397	△10,914
非支配株主への配当金の支払額	△224	△375
その他	△367	△530
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,327	△1,025
現金及び現金同等物に係る換算差額	369	1,291
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	11,148	14,537
現金及び現金同等物の期首残高	174,053	220,040
現金及び現金同等物の中間期末残高	185,202	234,577

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

① セグメント情報

a. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎としております。

当社グループは、商品・サービス別の事業部及び子会社を置き、各事業部及び子会社は、取り扱う商品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、上記を基礎とした商品・サービス別セグメントから構成しており、商品・サービスの特性及び販売市場の類似性に基づき、複数の事業セグメントを集約したうえで、「決済代行事業」、「金融関連事業」及び「決済活性化事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメント区分の主な商品・サービス又は事業内容は以下のとおりです。

報告セグメント	主な商品・サービス又は事業内容
決済代行事業	主にオンライン課金・継続課金の決済代行サービス及び対面の決済代行サービスの提供
金融関連事業	主に「GMO後払い」、「GMO掛け払い」、送金サービス等のマネーサービスビジネス、成長資金を融資するトランザクションレンディング、海外レンディング、加盟店のキャッシュ・フロー改善に資する早期入金サービス、給与即時受け取りサービスの「即給 byGMO」、BtoB取引の請求書カード払いを可能にする「請求書カード払い byGMO」の提供
決済活性化事業	主に加盟店の売上向上に繋がるマーケティング支援サービスの提供、医療特化型予約管理システム「メディカル革命 byGMO」の提供

b. 報告セグメントの情報

報告されている事業セグメントの会計方針は、要約中間連結財務諸表作成の会計方針と同一です。

当社グループの報告セグメントごとの情報は以下のとおりです。なお、報告セグメントの損益は、営業損益ベースの数値です。セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。

前中間連結会計期間（自 2024年10月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	決済代行 事業	金融関連 事業	決済活性化 事業	合計	調整額 (注)	連結
売上収益						
外部収益	30,373	9,509	874	40,757	—	40,757
セグメント間収益	67	0	0	68	△68	—
合計	30,441	9,509	875	40,826	△68	40,757
セグメント損益（△は損失）	14,594	2,765	215	17,574	△2,260	15,314
金融収益	—	—	—	—	—	535
金融費用	—	—	—	—	—	△242
持分法による投資損益 （△は損失）	—	—	—	—	—	145
税引前中間利益	—	—	—	—	—	15,752

(注) セグメント損益の調整額△2,260百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用△2,393百万円

及びセグメント間取引消去132百万円です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

当中間連結会計期間（自 2025年10月1日 至 2026年3月31日）

(単位：百万円)

	決済代行 事業	金融関連 事業	決済活性化 事業	合計	調整額 (注)	連結
売上収益						
外部収益	34,059	11,104	919	46,084	—	46,084
セグメント間収益	127	3	5	136	△136	—
合計	34,187	11,108	925	46,220	△136	46,084
セグメント損益（△は損失）	17,220	3,692	208	21,121	△2,329	18,792
金融収益	—	—	—	—	—	389
金融費用	—	—	—	—	—	△515
持分法による投資損益 （△は損失）	—	—	—	—	—	200
税引前中間利益	—	—	—	—	—	18,867

(注) セグメント損益の調整額△2,329百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用△2,436百万円及びセグメント間取引消去106百万円です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

② 営業債権及びその他の債権

営業債権及びその他の債権の内訳は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
売掛金	11,860	13,620
営業貸付金	25,066	31,778
その他	603	748
貸倒引当金	△357	△345
合計	37,174	45,802
流動資産	24,137	28,328
非流動資産	13,037	17,474
合計	37,174	45,802

③ 関連当事者取引

前中間連結会計期間（自 2024年10月1日 至 2025年3月31日）

重要な取引はありません。

当中間連結会計期間（自 2025年10月1日 至 2026年3月31日）

重要な取引はありません。